

冬期交通確保の取組み



平成29年1月、2月には記録的な豪雪に見舞われました。

(最大積雪：智頭で111cm(1/24)、最大日降雪量70cm(1/23))

その豪雪の教訓を活かし、各道路管理者（国、県）や警察署、市、町との連携を強化するとともに、重点除雪区間の設定、除雪出勤基準の引き下げ（積雪10cm程度→積雪5～10cm程度）等、除雪計画の見直しを行いました。



平成29年1月国道373号



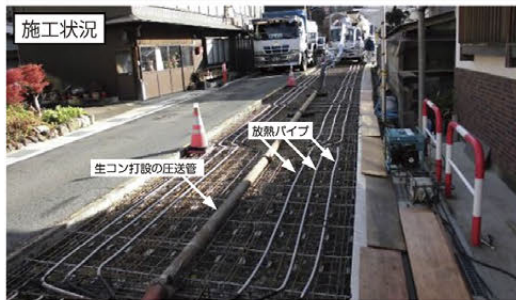
◆重点除雪区間の設定

通常の除雪能力を超える豪雪時においても、広域的な交通と緊急車両等の交通を確保することを目的に、重点的に除雪作業を行い早期に円滑な交通を確保する『重点除雪区間』を設定。

	目的（課題対応）	指定する区間
重点除雪区間Ⅰ	「県内の骨格となる主要幹線道路」、「主要幹線道路と市街地を連絡する道路」を早期に重点除雪し、広域物流、災害時の緊急輸送等の交通を確保	主要幹線道路で第一次防災拠点（県庁、市役所、基幹災害拠点病院等）を連絡する『第一次緊急輸送道路』を基本に以下の路線を指定 ・鳥取道、山陰道等の高規格幹線道路、国道9号等の幹線道路 ・高規格道路の未供用区間における国道の迂回路を担う道路 ・第2次緊急輸送道路のうち、市内幹線道路を担う道路
重点除雪区間Ⅱ	防災拠点病院・総合病院へのアクセス道路、市内幹線道路など主要生活道路の交通を確保	第2次防災拠点（町村役場、地域災害拠点病院、総合病院等）を連絡する『第二次緊急輸送道路』、市内幹線道路等の以下の路線を指定 ・第2次緊急輸送道路、市内幹線道路 等

◆国道373号現道対策

無散水融雪装置（郷原地区）L=40m区間（鳥取向き車線）



堆雪帯の設置（大内地区）L=650m



◆鳥取県除雪機械運転手育成支援事業

県内の道路等での除雪における除雪機械の運転手となる若手人材を育成し、冬期交通の確保と冬期も安心して暮らすことができる地域づくりを進めることを目的に、除雪機械の運転に必要な資格の取得に係る費用の一部を支援します。



○直接補助
県が、資格取得する個人または事業者、直接補助金を交付し支援（20万円を限度に経費の3分の1を補助）

○間接補助
市町村が、資格取得する個人又は事業者、補助金を交付し支援
県は、支援した市町村に対して補助金を交付し間接的に資格取得者を支援（20万円を限度に市町村が交付した額の2分の1を補助）

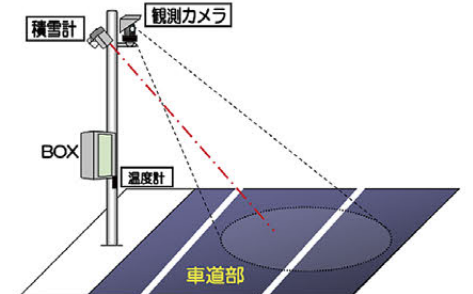
◆鳥取県除雪機械管理システム

除雪機械の位置・稼働情報等を一元的に管理し、関係機関へその情報を提供します。



◆鳥取県雪道情報提供システム とっとり雪(行き)みちNavi

「とっとり雪(行き)みちナビ」は道路のライブカメラ画像や積雪時の道路情報を提供するシステムです。令和7年度現在で県管理道路の269ヶ所のライブカメラ画像を公開しているほか、国土交通省や隣県が設置したカメラ画像ともリンクしており、冬期を中心に多くの方々にご利用いただいています。



カメラ画像(例)



とっとり雪(行き)みちナビ
<https://yukinavi-net.cache.yimg.jp/index.html>

鳥取県防災情報ポータル
<https://tori-bousai.jp/>



QRコードは
こちら→

鳥取県防災情報ポータルサイト